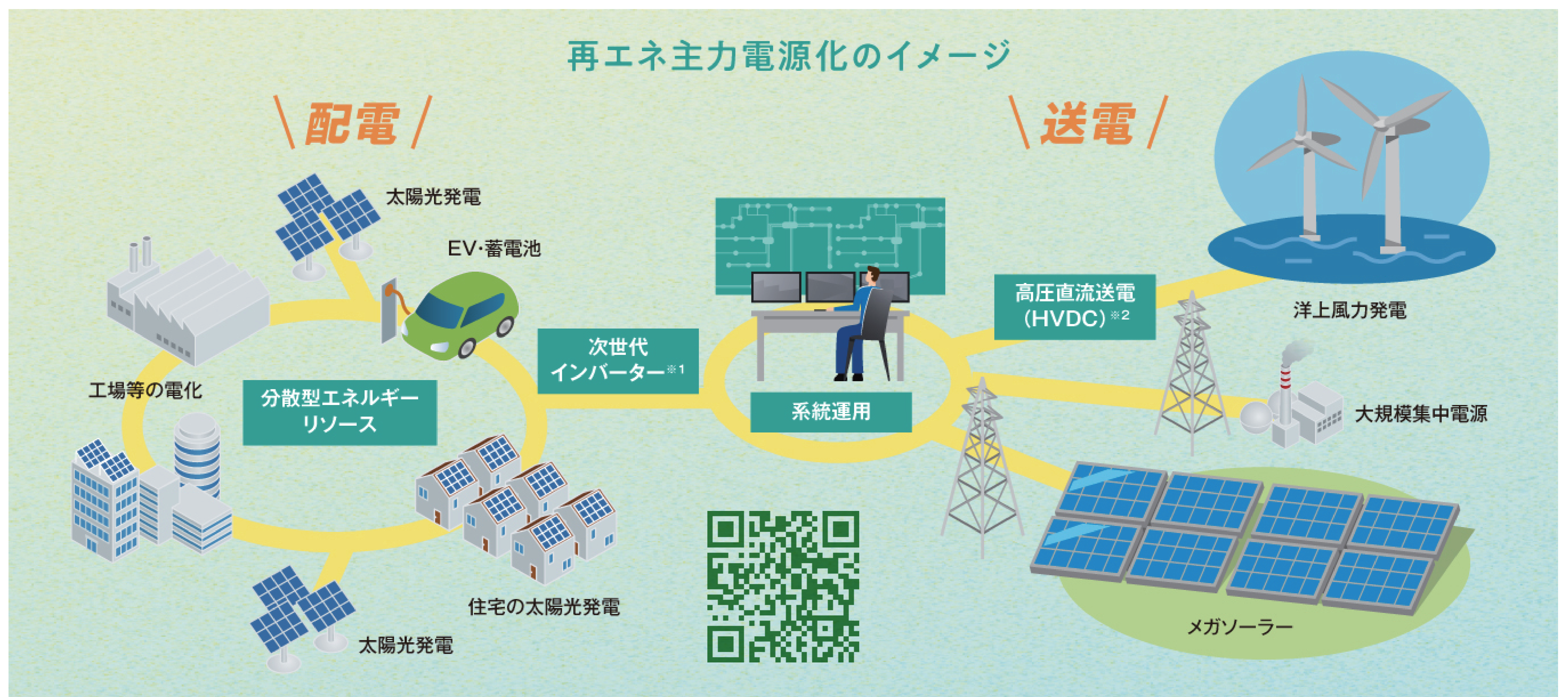




再エネ主力電源化の実現へ！ 知っておきたい、次世代電力ネットワーク

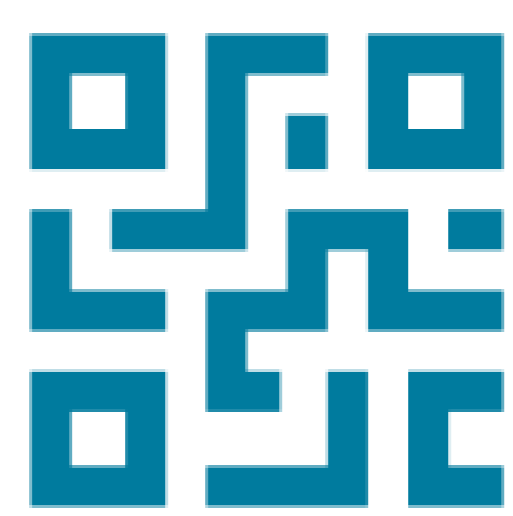
カーボンニュートラルに向けた取り組みの中で、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の大量導入は必須の要素です。しかし、再エネを主力電源にするためには、クリアしなければならない課題があります。コストの問題や環境への影響の問題はもちろん、電力の安定供給にとって最も重要なことは需要（使われる電力量）と供給（発電量）のバランスを取ることです。このバランスが崩れてしまうと、最悪の場合、大規模停電につながってしまいます。



※1 電力用半導体素子のスイッチング作用を利用して、直流電力を交流電力に変換する装置

※2 送電を高電圧の「直流」で行うシステム。送電ロスが少なく、長距離でも大量に送電できる上、周波数が異なる系統の連系にも適している

また、再エネ由来の電気は、その発電量が天候や気象条件に左右されやすいことから、需給バランスが崩れることを防ぐために、現在は火力発電等で発電量を調整しています。このように、既存の送配電網へより多くの再エネを受け入れていくためには、需給のバランスの問題を含めてさまざまな課題を解決していく必要があります。



ポスターのQRコードを読み込んでいただくことで、**NEDO公式ウェブサイト等から詳しい情報**をご覧ください。